

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策I-1-4
企業立地の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

企業立地課長 大谷 幸生

電話番号

0852-22-5764

事務事業の名称	企業誘致のフォローアップ	
目的	(1) 対象	立地計画認定企業
	(2) 意図	立地企業の支援ニーズを把握し、適切に対応することで、県内事業所の維持・拡大を図る。
事業概要	フォローアップのための企業訪問活動 ・事業所の維持、拡大を図るため、県内事業所を定期的に訪問し、業況、投資計画等の情報を収集し、あわせて情報提供等の支援活動を実施。 企業交流会 ・立地企業と地元企業の間で意見交換、情報収集、取引拡大等を促進するための交流会を開催。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 立地計画認定企業に対する訪問活動	目標値		370.0	375.0	380.0	385.0	回
		取組目標値						
	式・定義 フォローアップ専門員及び企業立地課職員による立地計画認定企業（県内事業所）への訪問回数	実績値	303.0	381.0				%
		達成率	-	103.0	-	-	-	
2	指標名 企業交流会の参加者数	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	人
		取組目標値						
	式・定義 企業交流会の参加者数（主催者等出席者を除く）	実績値	64.0	44.0				%
		達成率	-	44.0	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,536	3,622
うち一般財源 (千円)	725	3,622

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・フォローアップ専門員が市町と連携し、約180の立地計画認定企業を年1回程度訪問し、情報収集や要望の聞き取りを行った。
- ・企業交流会については、立地企業と地場企業の併せて35社44人が参加した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・専門員による立地企業への訪問活動で企業の動向が把握できるとともに、要望事項への迅速な対応が可能となった。
- ・企業交流会へ参加した立地企業と地元企業の交流と情報交換が促進された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・立地企業の事業所縮小や県外工場への集約、撤退、海外移転の可能性がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・経済情勢の変化などにより、立地計画認定企業の中には売上げの減少が続いている企業がある。

③原因を解消するための「課題」

- ・いかに早期に情報収集し、留置対策等をとるか。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・フォローアップにより収集した情報を分析することにより、重点的な支援等が必要な企業の洗い出しを行うなどにより、必要に応じた支援や親企業や本社への訪問を行うなどとする。